

報道関係者各位

2020年2月3日
昭和電線ホールディングス株式会社

日本政策投資銀行の「DBJ 環境格付」で最高ランクを取得

昭和電線ホールディングス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:長谷川 隆代)は、株式会社日本政策投資銀行(以下 DBJ)の DBJ 環境格付*1で、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」である最高ランクの格付を取得し、1月31日付で同制度に基づく融資を受けましたことをご知らせいたします。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという「環境格付」の専門手法を導入した世界初の融資メニューです。



当社は2020年1月、日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

今回の格付では、以下の取り組みが高く評価され、最高ランクを取得しました。

(1) グループ体系的な環境マネジメント体制を構築し、各事業拠点において環境負荷の低減や生産性の向上に繋がる不断の改善活動を行うとともに、一定の要件を満たした環境貢献製品の新規登録件数の拡大を環境自主行動計画に掲げ、本業を通じた環境低負荷型社会の実現を推進している点

(2) 策定した「サプライチェーン CSR 推進ガイドライン」および「グリーン調達ガイドライン」について、取引先への対面での説明や取り組み状況の調査等を行いその浸透を図ることで、持続的なサプライチェーンの構築に向けた取り組みを進めている点

(3) 中長期的な社会課題の解決に資する技術開発や事業開発を、グループの資源を有機的に融合させ一体的かつ積極的に推進すべく、事業セグメントの再構築にあたり「新規事業セグメント」を新設するとともに、それらを支える人材の育成にも取り組んでいる点

当社は 2019 年 11 月 5 日に中期経営計画「Change SWCC2022」ローリングプラン(2019)を公表し、ビジョン達成に向けて CSR を重視した経営を推進していくことを新たに決めました。CSR 目標に関しては近年、重要性が高まっている「ESG」の観点に沿って重点課題を設定*²しています。また「持続可能な開発目標(SDGs)」を考慮した事業活動や環境活動を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会に貢献することが、当社グループの持続的成長と企業価値向上につながるものと捉えています。事業における成長を成し遂げるだけでなく、ステークホルダーのみなさまの期待に応え、責任を果たすべく、これからも持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

〈参考情報〉

- * 1 DBJ 環境格付 <https://www.dbj-sustainability-rating.jp/enviro/>
- * 2 昭和電線グループの「CSR 基本方針」
<https://www.swcc.co.jp/environment/guideline/index.html>

以上

【本件に関するお問合わせ先】

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略統括本部 経営企画部
TEL:044-223-0520 FAX:044-223-0547